

県内すべての自治体の皆さまへ

## 核のごみ自治体説明会に関する緊急アピール

私たちは、県民を放射能被害から守る運動、とりわけ高レベル放射性廃棄物（核のごみ）を岡山県内へ持ち込ませない運動をしている市民団体です。

去る5月22日、政府は、高レベル放射性廃棄物処分場選定に関する基本方針を閣議決定し、国による「核のごみ自治体説明会」を非公表・非公開というやり方で5月25日から全国的に展開しています。岡山においても6月2日15:00からメルパルク岡山において行われるという報に接し、私たちは驚いています。

このような事情から、ここに緊急アピールを発表させていただきます。

ご承知のように、岡山では、知事をはじめ、県下27自治体首長の皆さまから「高レベル拒否」のご回答をいただいているところです。

私たちは、このような岡山県の事情にも関わらず、総務省、経済産業省資源エネルギー庁放射性廃棄物対策室（廃対室）が、「核のごみ自治体説明会」を岡山で開催することについて看過することはできません。

原発から出る核のごみの地層処分の危険性については、今までに何度も各自治体を訪問し、ご説明を申し上げてきました。地層処分は、再処理されたのちに出た高レベル放射性廃棄物をガラスと混ぜ、それを封入したキャニスターを地下300メートル以深に埋め捨てるものです。漏れ出る超猛毒の放射能が地下水を通じて人間の生活環境へ出てくることをいかに遅らすかという設計で、地震国日本で安全性が確立しているとはいえない処分方法です。

5月22日の閣議決定された「基本方針」の内容は、国が「科学的有望地」を選定し、自治体への申入れを強めることです。具体的には地層処分方法をそのままにして、文献調査までの作業に国が前に出て関わっていくというものです。

これまで、総務省や廃対室などから「自治体向け連絡会」への働きかけなどがあったと思われませんが、今回の説明会の案内もこれら一連の動きと思われれます。

つきましては、これまでの「高レベル拒否」の政策を堅持され、上記の説明会には出席をされない等の賢明なご判断をいただきますよう、お願い申し上げます。

時間が迫っていますので、このようなアピールになったことをお詫びし、後日改めて資料等をもってご説明にあがる予定であります。

2015年6月1日

〒700-0083 岡山市北区津島西坂 1-4-18（岡山県平和センター内）  
さよなら原発1000万人アクション in 岡山実行委員会  
代表 奥津 亘

〒703-8267 岡山市中区山崎 67-11（妹尾方）  
放射能のゴミはいらない！県条例を求める会